

<住民登録>

7月1日現在

人口 78,345

男 37,662
女 40,683

世帯数 18,747

おおだて

編集と発行—大館市役所
発行年月日—昭和43年8月1日
発行日—毎月1日
定価1部4円

昭和43年3月1日第3種郵便物認可

大館 県道 小坂

七月二十二日

十七年ぶりに開通



(写真)開通した新県道と開通の喜びに沿道で手をふる長木地区の主婦たち

本市と小坂町を結ぶ新しい県道が17年ぶりに完成した。道巾5m、小坂までの延長19.549mの新道路は、昭和26年に着工以来難工事の連続であっただけに、関係者の喜びもひとしお、とくに長い間道路もなく不便さを身にしみ感じていた長木の雪沢地区の喜びは大きかったようです。

新道路は、小坂線沿に布設されており、途中、長木溪流、雪沢温泉、放牧場など美しい山あいと景勝地を通りぬけ小坂町に至るわけですが、名実ともに観光道路の名にふさわしい所を貫通しているといえます。

一方、両市町とも北鹿の黒鉱開発の拠点でもあることから、大館市と小坂町を結ぶ産業道路としても、今後に期待される活用は非常に大きいものがあります。

大館市 初の 大文字焼 8月6日に

—午後8時、花火の合図と同時に点火—

大館市の明治百年の記念行事である「鳳凰山大文字焼き」は、あとわずかにせまっています。

大館の大の字を型どり、飛躍する大館市を象徴しながら、物故者の慰霊と、市民の無事息災を願い、更には将来への発展を祈念するこの大文字焼も、さる7月25日の夜にリハーサルを終え、あとは本番の点火を待つばかりとなりました。

ここで、大文字焼きの「大」の字の規模を紹介してみますと、

- 一画の「一」の長さ 120メートル
- 二画の「ノ」の長さ 180メートル
- 三画の「ノ」の長さ 150メートル

で、この大きさは日本一の規模を誇れるものです。

点火は、市長からの無線連絡によって75カ所の積みかさねた薪に一齐に点火されることとなります。市民の安全と、はん菜のためにも当日の天候がすぐれ、美しいかがり火が霊峰鳳凰山にあざやかにうかびあがることを市民の皆さんとともに祈りたい。(小雨決行、雨天の場合は順延します。)

(写真7月23日行なわれた鎮火祭)

